

# 週間市場レポート (2021年6月28日~7月2日)

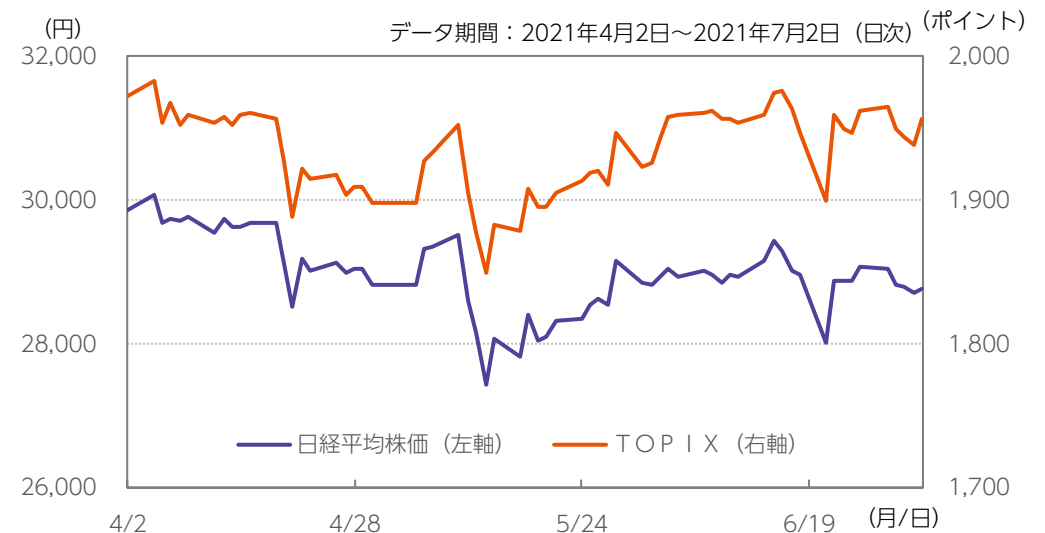
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/6/25	先週末 2021/7/2	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,066.18	28,783.28	▲ 0.97 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,962.65	1,956.31	▲ 0.32 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,433.84	34,786.35	1.02 ↑
S & P500種指数		4,280.70	4,352.34	1.67 ↑
ナスダック総合指数		14,360.39	14,639.33	1.94 ↑
ユーロ・ストックス50指数		4,120.66	4,084.31	▲ 0.88 ↓
S & P/ASX300指数		7,301.48	7,301.91	0.01 ↑
上海総合指数		3,607.56	3,518.76	▲ 2.46 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,080.53	1,063.56	▲ 1.57 ↓
東証REIT指数		2,146.77	2,162.16	0.72 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		864.67	860.70	▲ 0.46 ↓
ASX300 REIT 指数		1,582.70	1,554.20	▲ 1.80 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		204.59	202.89	▲ 0.83 ↓
日本10年国債 (%)		0.047	0.045	▲ 0.002 ↓
米国10年国債 (%)		1.524	1.424	▲ 0.100 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.155	▲ 0.235	▲ 0.080 ↓
英国10年国債 (%)		0.778	0.703	▲ 0.075 ↓
ドル/円		110.75	111.05	0.27 ↑
ユーロ/円		132.25	131.75	▲ 0.38 ↓
英ポンド/円		153.76	153.52	▲ 0.16 ↓
豪ドル/円		84.13	83.57	▲ 0.67 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,241.48	3,315.83	2.29 ↑
WTI原油先物 (ドル)		74.05	75.16	1.50 ↑
CRB指数		210.42	214.95	2.16 ↑

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

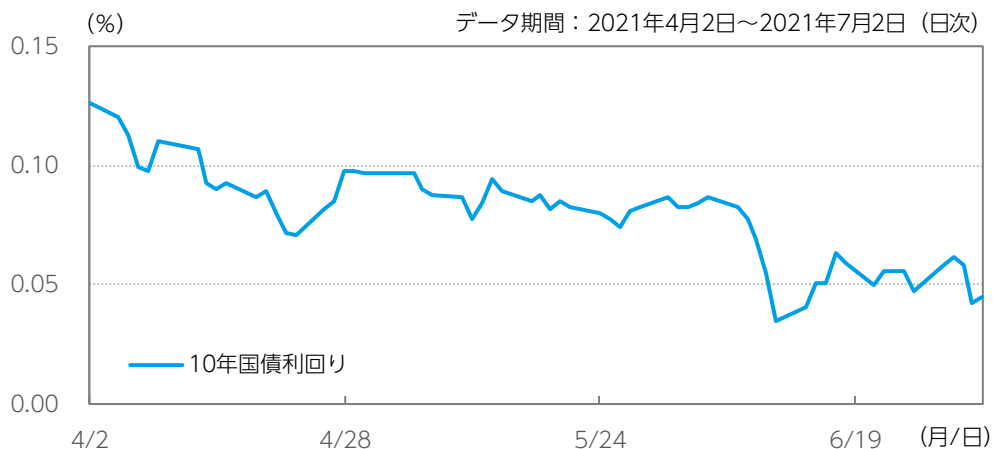
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。週末に6月の米雇用統計の結果公表を控え、様子見ムードから小動きとなりました。国内で新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、経済活動の正常化が期待される一方、変異株による感染拡大やワクチン供給の遅れのへの懸念などから、景気敏感株を中心に売りが広がりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

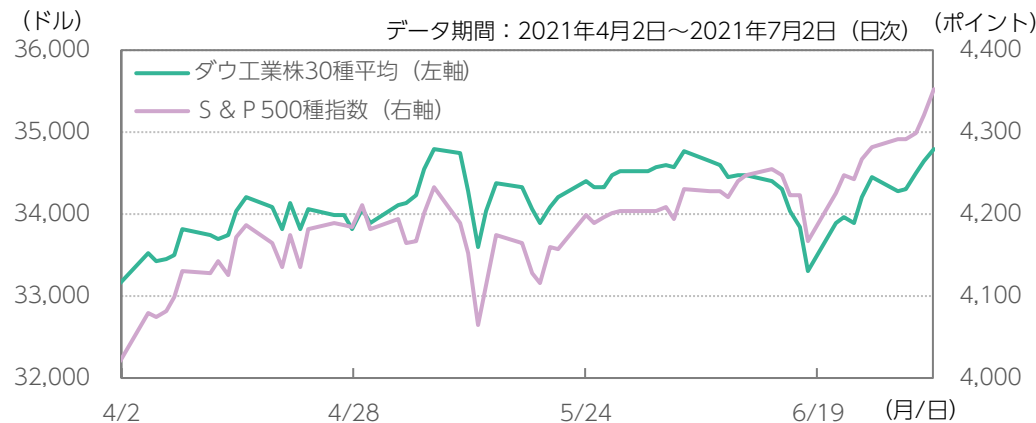
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。日銀が7月以降に国債買い入れオペ（公開市場操作）を減額する方針を示すと、国内債券は売りが先行したものの（利回りは上昇）、財務省が実施した10年物国債の入札で、投資家からおう盛な需要が確認されたことから買いが優勢となり（利回りは低下）、週間では横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

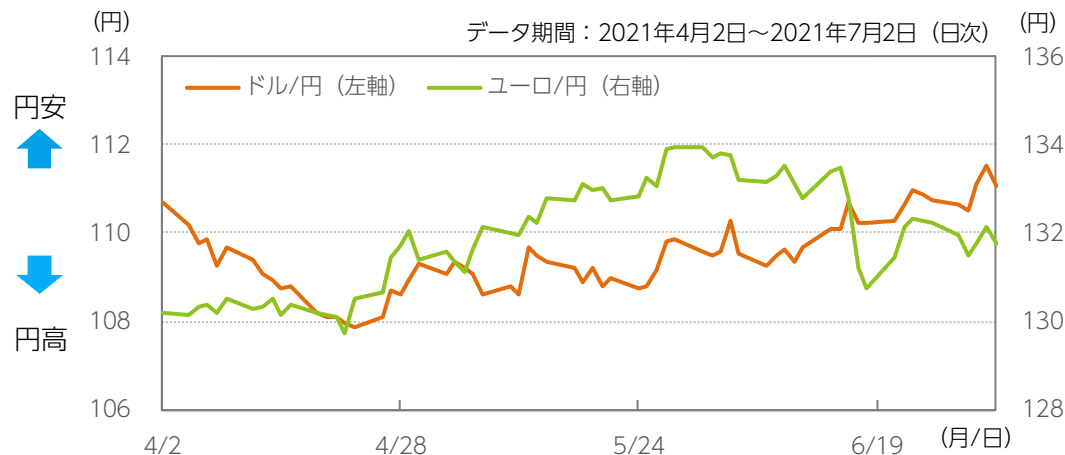
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。第2四半期に入り年金基金などの新規の投資資金が流入するとの期待が相場を支える一方、週末に発表される6月の雇用統計の結果を見極めたいとの投資家も多く、週末まで上値の重い展開となりました。雇用統計は市場予想を上回ったものの、利上げの開始が早まる可能性は低いとの見方から、週末のNYダウは史上最高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。米長期金利の低下がやや一服すると日米金利差の縮小観測が後退し、円売り米ドル買いが優勢となったものの、週末にかけては、感染力の強い新型コロナウイルスのインド型（デルタ株）がアジアや欧州などで拡大していることが警戒され、低リスク通貨とされる円を買う動きが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の国内株式市場は、週末に6月の米雇用統計の結果を控え、週末まで小動きとなりました。米国株式市場は、週末の雇用統計の結果を受け、史上最高値を更新しました。

6月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比85万人増と、市場予想を上回りました。全米の約半数の州が7月中にコロナ対策の一環である失業保険の上乗せ給付の廃止をする見込みであり、今後はサービス業を中心とした労働不足の解消が期待されます。国内では、ワクチン接種が進む一方、足元の新規感染者数の増加やワクチンの供給不足などから、景気回復の遅れが懸念されます。

今週より、国内企業の決算が順次公表されるため、国内株式市場は決算結果を見極めながら個別銘柄を物色する動きとなりそうです。一方、米国株式市場では、景気回復期待から金融当局による利上げやテーパリング（金融緩和縮小）の開始時期が意識されており、開始時期をめぐる思惑などからやや不安定な値動きとなることが予想されます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>